

【専門科目】（教科教育専攻・国語教育コース）

（平成31年度入試の問題）

次の事柄に注意して解答しなさい。

国語教育コースの専門科目試験問題は、以下の2種から構成されています。

- Ⅰ 教科教育に関する科目
- Ⅱ 教科専門に関する科目
- Ⅰ・Ⅱともに解答しなさい。

専門科目（教科教育に関する問題）

一、次の①から⑤の中から三つを選び、簡潔に説明しなさい。なお、選んだ項目の記号を（ ）内に書き入れて解答すること。

- ①語彙力 ②パネルディスカッション ③ブックトーク ④芦田恵之助 ⑤鑑賞

（ ）

（ ）

（ ）

二、今日の書くことの学習指導についてあなたの考える課題を一つあげたうえで、その課題を解決するような国語科の単元を一つ構想し、その単元名、目標、内容、方法を示しなさい。

課題

単元名（小・中・高および学年を記すこと）

目標

内容（教材、話題・題材など）

方法（具体的な学習活動など）

第一問（日本文学領域）

（一）次の文章は、【一】『伊勢物語』第九三段と、その章段中の和歌にかんする、【二】契沖『勢語臆断』の注である。ふたつをよんでこの章段を評釈せよ。

【一】むかし、をとこ、身はいやしくて、いとなき人を思ひかけたりけり。すこし頼みぬべきさまにやありけむ、臥して思ひ、起きて思ひ、思ひわびてよめる。

あふなあふな思ひはすべしなぞへなく高き卑しき苦しかりけり
むかしもかかることは、世のことわりにやありけむ。

【二】此あふなあふなといふ詞は源氏物語みゆきに、きけはかれもおとりはらなりと、あふなげにのたまへは云々。まき柱にあふなき事やのたまひ出んとつきかはすに云々。是は遠慮もせぬ人の、ふと物をいへる心と見えたり。されば今はこれをかさねていへるにや。心はこひをせばふかくもおもひいれず、大かたの人の、逢やすかるへきをおもふへしといふ心なり。

（二）和辻哲郎、保田與重郎、亀井勝一郎、小林秀雄について、それぞれの作品を挙げつつ文学上の共通点を述べよ。

（裏面解答可）

第二問（日本語学領域）

動詞の活用について、次の問に答えよ。

- （一）学校の国語科の教材では、動詞の語幹と語尾の関係についてどのような説明がなされているか述べよ。

- （二）その説明の長所および問題点として考えられることを述べよ。

（裏面解答可）

第三問（中国文学領域）

次に掲げるのは、『説苑』の一節である。この文章を読んで、後の問に答えよ。

孫叔敖為_レ楚令尹、一_レ国吏民皆来_レ賀、有一_レ老父衣_レ粗衣、冠_レ白冠、後來_レ弔。孫叔敖正衣冠而出見_レ之、謂_レ老父曰、「楚王不知_レ臣不肖、使_レ臣受_レ吏民之垢、人尽来_レ賀、子独後來_レ弔、豈有_レ説乎」^②。父曰、「有_レ説、身已貴而驕_レ人者、民去_レ之。位已高而擅_レ權者、君惡_レ之。禄已厚而不_レ知足者、患_レ処_レ之。」孫叔敖再拜曰、「敬受_レ命、願聞_レ余教。」父曰、「位已高而意益下、官益大而心益小、禄已厚而慎不敢_レ取。君謹守_レ此三者、足以治_レ楚矣。」

問一 傍線部分①「使臣受吏民之垢」を書き下せ。

問二 傍線部分②「豈有説乎」を現代語訳せよ。

問三 「老父」はなぜ「粗衣」・「白冠」でやってきたのか、説明せよ。

（裏面解答可）